

観光 地域

実施内容

No.15
H28

台湾サイクリスト招聘ルート試走＆意見交換

台湾から旅行エージェントら3名を招き、天塩川流域ミュージアムパークウェイルート（名寄～美深～音威子府～中川）の試走と意見交換会を行った。試走では、ルートメンバーがコース案内を行い、地域の見どころを紹介しながら走り、プロサイクルガイド石塚氏もサイクルガイドとして同行いただいた。意見交換会は中川町の天塩中川駅の駅舎「交流プラザ」で行い、地元飯の提供後、町長や観光協会会長、また、宗谷シニックのメンバーと一緒に、今回の試走の感想、サイクリルツアーオンにおけるアドバイス（視点）、台湾のサイクル事情などを伺うことができた。今後のインバウンド対応について参考となるアドバイス等をいたいたため、本年度実施予定のツアー等に活かしたい。

日 時
主 催

平成28年6月24日（金）

天塩川流域ミュージアムパークウェイルート代表者会議



- ◆ストニー・ワン 氏
：フリーランスプロガー。台湾で多くのファンを持つサイクリストで、氏のブログは、6,000人を超えるフォロワーを持つ。
- ◆黄 峻祐 氏
：ジャイアント旅行社 企画専門員。世界最大の自転車メーカー「GAIANT」が設置した旅行部門。
- ◆林 永達 氏
：五副旅行社テーマ旅行部。台湾大手の旅行代理店のサイクリング専門部署に所属。



16

観光 地域

実施内容

No.16
H28

シニックバイウェイの取組みPR in名寄(水防イベント)

名寄市で開催された水防イベントにおいて、「シニックバイウェイ北海道 きた北海道タペストリー展」のブースを設置し、シニックPRを行った。

展示は、広域観光周遊ルートを意識し、きた北海道全体のPRを兼ね、道北エリア4ルート（大雪富良野ルート、宗谷シニックバイウェイ、萌える天北オロロンルート、天塩川流域ミュージアムパークウェイ）のタペストリーの展示、ルート内の観光パンフレットや「Senic Byway」の配布、ドライブマップの掲示などを行った。

日 時
主 催

平成28年6月25日（土）

天塩川流域ミュージアムパークウェイルート代表者会議



17

全体

No.17
H28

実施内容

石田東生先生とのシニックに関する意見交換会

宗谷シニックバイウェイルート10周年記念イベントのため来道されていた石田東生先生に当ルートへお越しいただき、ルートの景観・地域資源等を視察いただいた。その後、意見交換会を行い、当ルートにおける課題点など含め、多くのアドバイスを戴いた。今後の活動への励み（モチベーションの向上に繋がり）となり、自分達では気づきにくかった地域課題についてご指摘いただき、ルートメンバーで共通認識も持て、大変有意義な時間となった。

▲視察コース：中川町～名寄市、名寄市～土別市 ▲意見交換会：名寄市

日時・参加

平成28年7月2日（土）

天塩川流域ミュージアムパークウェイ（栗原ルート代表代理・山崎副代表他：計9名）

宗谷シニックバイウェイ（杉川氏）、シニックバイウェイ支援センター（原）

ルートコーディネーター（dec小西）



◆意見交換：石田先生からのアドバイス（抜粋）

<全体>

- 良いもの（観光資源）が多いのに、見せ方が下手である。
- 「天塩川」と道が並行していることが最大の特徴。
スイス・モビリティの動きに合致している。
*アメリカのシニック（コロラド川と高速道路・カヌー）も参考になる。
- 「川・道・人・自然」をテーマに活動している方向性はよい。しかし「冬」をどうするかが課題。
- 「食（ペ物）」で繋がるルートづくりも良い。女性を入れて考えること。（この会議にも男性のみ）
- 地域が元気になることが大事であり、これを見失わないことが大切である。
- 冬の楽しみ方（*二次交通の脆弱さも課題）
- 宿泊施設（*外国の富裕層が泊まる際に見合うホテルなど）

<広域連携>

- 今後の観光庁の動きとしては、訪日外国人旅行者数が基準になると考える。人数を目指すと安価な旅行商品となり、地域が苦しくなるため、人数は多くなくとも地域にお金が落ちるような旅行単価を考え、**旅行消費額に目を向けた取り組みが大事**になってくる。
- 広域観光周遊ルートの動き**を取り入れること。→現状では広域的に連携している動きは見えない。

⇒「冬期観光」「広域観光周遊ルート」の二点について[活動計画書へ取り入れること](#)¹⁸。

景観

No.18
H28

実施内容

沿道の除草活動～国道275号「そばの花ビューポイント」in幌加内

幌加内町では、「そばの花の景観」を観光資源ととらえ、地域活性化・観光振興を目指し、地元のそば生産者・農家、観光協会、役場等で協力し、景観向上を目指した「景観プロジェクト」を立ち上げた。ビューポイント箇所の設定、看板の設置やPR、除草作業などを行っている。ビューポイント周辺の除草作業は行ってきたが、国道敷地の除草時期は別日であった。時期を同じにすることで、より美しい景観が形成（イタドリがない連続した景観）されるため、平成27年度より、旭川開発建設部での機械除草と地域の人力除草の時期を同じ日に実施している。本年度も事前に日程調整等を行い、除草および除草後にでたゴミ拾いを行った。今後も継続的に実施していく。

日 時

平成26年7月7日（木）

8:30準備（役場前集合） 9:00～11:00頃

国道275号・町道等に設置の「そばの花ビューポイント」
景観プロジェクト、地域住民、旭川開発建設部等 = 計40名



▲当日のスケジュール、作業エリア等の確認（参加者集合）

実施場所参 加

before



after



草刈車
道路管理者による
機械除草
+ 人力除草

地域による
人力除草



▲除草後にでてきたゴミ拾い

全体

No.19
H28

実施内容

ルートメンバーによるワークショップの開催

昨年度実施したワークショップ結果により、本エリアの軸となる「遊べる大河」・「手軽な本格」・「魅力的な不便」の3つのイメージが確立された。この3つのイメージを活かし、景観・観光資源、歴史文化、食などを組合せた、当エリア（9市町村）を訪れる観光客へオススメできるメインルートを作るためのワークショップを開催した。

「北部エリアG・南部エリアG・女子G」の3つのテーブルに分かれて、

- 9市町村の観光資源を繋ぎ、周遊する夏（無雪期）、冬（積雪期）のメインルート
- 「オススメルート夏編ツアー」を実施するための出発地、ルート、スケジュールについて意見を出し合い、各グループで発表を行った。

この結果を整理し、・ツアーオの実施・パンフレットの作成を行う（H28年度実施予定）。

日
会
参
時
場
加

平成28年7月20日（水）14:30～17:00

交流プラザ「よろーな」（名寄市）

30名程度 <ルート活動団体、旭川開発建設部（道路計画課
・地域対策室・河川・土別道路事務所）、上川総合振興局、dec>



20

各グループで、自分の地域（自分の意見）の部分を発表しました。
（ほぼ全員が自分の言葉で自分の地域について話すことで、自分の地域を見つめなおしにも繋かりました。）

観光 地域

No.20
H28

実施内容

ルートメンバーによるルート内周遊観光ツアー

7月に実施したワークショップ結果を元に、活動団体メンバー自らが参加者となり、自分達の地域を案内しあい、地域資源の見直し、施設体験等を行った。自転車で進むことをメインに、そこから見える景色や路面の確認、導線上の資源との繋がり、食との関係性などを確認しつつ、1日目終了後には意見交換を実施した。また、アウトドア旅行会社等の参加者からは、旅行商品としての視点からアドバイスを戴いた。自転車は剣淵町・中川町からのレンタサイクル用を借りて実施した。（ルートメンバーによる地域案内は、審査委員視察の練習も兼ねて実施。）＊旭川開発建設部の支援による実施

日
参
時
加
メニュー

平成28年9月14日（水）15日（木）1泊2日

ルート活動団体、アウトドア旅行会社、旭川開発建設部、他 計30名程度

【1日目】剣淵～土別～名寄（泊）／フットバス+自転車、施設見学、意見交換会

【2日目】名寄～下川～（名寄）～幌加内～剣淵／自転車、体験、施設見学



▲ロード、クロス、マウンテンから
自分にあった自転車を選ぶ



▲深名線跡地
：幌加内町



▲下川名物「手延べうどん」

観光 地域

実施内容

日 時
会 場
主 催
展示主体

シニックバイウェイの取組みPR in中川(秋味まつり)

継続
No.21
H28

中川町で開催された「なかがわ秋味まつり&北海道丸太押し相撲大会」会場において、天塩川ルートのブースを設置し、シニックPRを行った。

名寄での水防イベントの展示では、少し入口からパンフレットなどが遠かったため、手前側に持ちかえりやすいようにパンフレットを配置した。また、広域観光周遊ルートを意識し、きた北海道全体のPRを兼ね、宗谷シニックバイウェイと当ルートのタペストリーの展示、ドライブマップの掲示、ルート内の観光パンフレットや「Scenic Way」の配布、この後に実施するモニターツアーの募集チラシの配布などを行った。展示場所も、出店で出展していたルートメンバーの間に設置し、説明等ができるような工夫を行った。

天候もよく、来場者も多かったため、足を止めてみてくださる方も多い。

平成28年9月17日（土）・18日（日）

中川町 天塩川河川敷（誉橋）

中川町秋味まつり実行委員会

天塩川流域ミュージアムパークウェイルート代表者会議



22

全体 -連携-

実施内容

きた北海道エコ・モビリティ事業く継続実施:2年目

継続
No.22
H28

平成27年7月から、宗谷シニックバイウェイと天塩川流域ミュージアムパークウェイルート+シニックバイウェイ支援センターで連携し、周遊観光ルートの形成、受入環境の整備等を行っている。

今年度は活動二年目の年となり、モビリティを商品化していくための試行年として、

- ・モニターツアーの実施
- ・旅行会社等へのプロモーション
- ・受け入れ体制の整備

等を実施する。
今後は、広域観光周遊ルート「日本のてっぺん」の構想を念頭に、より広い視野を持ちながら活動の充実を図っていくことが重要であると考える。

<全体計画（案）>

本年度

事業名	1年目（H27年度）	2年目（H28年度）	3年目（H29年度）
受入環境	<ul style="list-style-type: none">・基礎調査・モデルルートの検討	<ul style="list-style-type: none">・交通事業者や地域受入施設等の受入試行	<ul style="list-style-type: none">・本格的な受入れ態勢の構築
PR・プロモーション	<ul style="list-style-type: none">・イメージビデオ等の素材収集	<ul style="list-style-type: none">・旅行者等へのPRの実施	<ul style="list-style-type: none">・商品化に向けた旅行会社等へのPRの実施
旅行商品化		<ul style="list-style-type: none">・モニターツアーの試行	<ul style="list-style-type: none">・本格的な商品の試行
その他	<ul style="list-style-type: none">・先進地調査・検討会（2回）・勉強会（1回）	<ul style="list-style-type: none">・勉強会・検討会	<ul style="list-style-type: none">・勉強会・検討会

<実施体制・エリア>

- 宗谷シニックバイウェイ（25団体）
- 天塩川流域ミュージアムパークウェイ（25団体）

*当ルートが事務局となり、各事業実施における調整及び取りまとめ等を行っている。

23

▲メインコースの検討

実施／検討会：7月27日、試走：8～9月中旬までのほぼ毎週土日
内 容／検討会に加え、当日の地域ガイドのメンバーと試走を繰り返し、
施設等との当日の対応依頼（調整）とあわせて、コース設定を行った。カヌーやトレッキングと合わせたモビリティコースの
設定と300kmを越えるロングコースの設定では、対象者が
違い、設定が難しかった。



▲検討会



▲休憩ポイント候補地における自転車スペースの検討

②ロングライドツアー



▲モニターツアーの実施（2本）

①スロウモビリティ

実施／10月1日（土）～3日（月） 2泊3日
コース／剣淵→土別→名寄→美深→音威子府→中川（ルート内）
内 容／自転車＆カヌー＆トレッキング+JRを組合せたツアーコースはロードバイク、クロスバイク、マウンテンバイクの3種類を状況等にあわせて選べ、御当地食やスイーツ、地域の体験メニュー（プラタナリウム、琥珀磨き）などを楽しむ。

②ロングライド

実施／10月8日（土）～11日（火） 3泊4日
コース／旭川空港～和寒、剣淵・土別・名寄・美深・音威子府・中川・幌延・天塩・豊富・稚内～宗谷岬（天塩川ルート～宗谷ルート）

内 容／自分の愛車で日本のてっぺん「宗谷岬」まで焼く325kmを3日間かけて走り続ける、ちょっとしたがったツアーコースから5名、静岡1名のほか、台湾から4名の参加があり、全員無事にてっぺんに自力で立った。元サイクルスポーツ雑誌長宮内氏を招聘し、アドバイス等をいただいた。

<共通> 募集人数／10名（最少催行人員2名）

添乗員／なし。地域ガイドが案内。
旅行企画／（株）シィーピーツアーズ

①スロウモビリティツアーコース



（参考）モニターツアーコース募集告知／新聞掲載（実施状況）



▲上「①スロウモビリティ」モニターツアーコース募集チラシ
▲下「②ロングライド」モニターツアーコース募集チラシ

募集用のチラシを作成し、札幌グランドホテルシニックスブースにて配布の他、当事業のF.B.、（株）シィーピーツアーズのサイトにて告知を行った。その他新全道版でも告知があったため、全道各地から問い合わせがあった。また、サイクルスポーツのWebサイトでも告知いただいた。



▲サイクルスポーツのWebサイトでの告知画面



▲北海道新聞・道北地域版に掲載（10/12（水）朝刊）25

▲ 「きた北海道エコ・モビリティ勉強会」開催
「自転車による観光地域づくり」
～サイクリングを通じた全国各地の動き～

実 施／10月11日（火）
9：30～11：00
会 場／キタカラ 地域交流センター
市民活動室（2F）
内 容／昨年度に引き続き、これからの道北地
域の自転車による観光の可能性を探る
勉強会を開催した。講師には、元サイ
クリススポーツ編集長の宮内忍氏をお招
きし、国内外での自転車による観光地
域づくりの事例を紹介等とこの地域の
今後の可能性についてアドバイスを戴
いた。



▲ロードバイクを前に講演する宮内氏

▲共通サイクルラックの設置

地元木材を使用したオリジナルサイク
ルラックを制作し、両ルートに設置。
ツアーワークのサイクルラックが設置され
ていない箇所への対応として、簡易
ラック（アルミポール）をサポート
バーに積み込み、その場で設置・撤収
した。

* * 自転車ラックがあるとサイクリ
ストは、「この施設（場所）はサイクリ
ストを快く受け入れてくれる場所なん
だ」と思うらしい。



▲JR天塩中川駅のラック設置（中川町）



東谷シニックハイウェイ／天塩川流域ユージアムパークウェイ

きた北海道エコ・モビリティ勉強会

東谷シニックハイウェイは、天塩川流域ユージアムパークウェイと連携し、平成28年10月8日（土）～10月11日（火）に、旭川市港から東谷岬までの自転車のグリーンモーターフェスを実施しま
す。沿線の各ショッピングセンターには、有識者としてサイクリスト専門誌「チクタシ」編集長 宮
内 忍氏が登壇します。

モニターラーのゴール地である殖内にて、全国各路でスポーツサイクルやサイクルツーリズム
の普及・発展に寄与してきました。宮内氏を講師として自転車による観光地域づくりを学ぶ勉強会を
開催します。

日 時 平成28年10月11日（火）9:30～11:00

場 所 キタカラ 地域交流センター 市民活動室（2F）

異 声：東谷シニックハイウェイ、天塩川流域ユージアムパークウェイ、一般社団法人 シー
カスモス、一般社団法人バイオウェイ支援センター、一般社団法人北海道開発技術センター

参加者：25名

参加費：無料

講師のご紹介

宮内 忍氏(COLISSIMO/チクタシ)編集長】

中学生年代でサイクリングの魅力を認め、大学時代は早大サイクリング
クラブ(WCC)に所属し、日本各地をサイクリング用自転車で走る。放送野
球解説者として活躍。2006年からCOLISSIMO(チクタシ)編集長。サイク
ルスポーツ編集長。2006年からCOLISSIMO(チクタシ)編集長。サイクル
スポーツ編集長時代に、読者を持つ海外自転車マガジン「ヨーロッパ
ルードバイク」編集長となり、データアソシエイトとして現地旅行や企画・取材



▲昼食会場への簡易ラック（豊富町：悠悠ブーム）

▲外国人向パンフレットの作成
台湾旅行会社へのプロモーション

今後更なる海外からのサイクリストの増加を期待し、台湾旅行会社
へのプロモーションを行うためのパンフレットを作成した。11月
上旬から中旬にかけて、台湾に出向きP R・プロモーションを行う。
地域概要とオススメの旅の提供などを掲載。

●部 数／きた北海道エコ・モビリティ 繁体字パンフレット
300部（A4不定形）



▲情報発信

「きた北海道エコ・モビリティ」のFacebookページを開設し、ツ
アーの募集や実施状況等を報告した。今後は、冬に楽しめるアクティ
ビティの紹介やイベント情報、地域資源などを紹介しながら、春にむ
けて広く周知を行う。



▲広報

「きた北海道エコ・モビリティ」の取り組みP Rとして、平成28年11月下旬頃に発行予定の
「Scenic Byway vol.18～冬春号（最新号）」へ広報を行った。

